

# Poor Head English

Vol.3

*Written by  
shiroa*

## はじめに

---

英語ができたらいいなあ。

しろあです。

もしも心の中でそんな憧れがあるのなら、できるようになればいいんじゃないの？！  
でも勉強する時間もないし、そもそも勉強嫌いだし。

大丈夫！ そんなあなたでも、必ず英語ができるようになります！

「 Poor Head English 」、これは英語を勉強せずに英語を身につけようとする試みです。

私自身がまだまだ英語が未熟ですが、確実に ”できる ”ようになってます。

英語を身につけるのに苦しむ必要はありません。気が付いたら実力がついてた、こんな感じがいいでしょ？

で、英語でいろいろ楽しむことができるようになったら。

そんなあなたの夢を応援するプログラム、 This is it!

さてさて。つまらない話はここまで。

大事な話は前回、前々回でお話済み。

今回はどちらかというと、英語のみならず、何かを学習する、身につける時に役立つ考え方を紹介です。

名付けて「雪だるま式成長法！」

.....って、当たり前の話なんですけどね。

ちなみに最新の連載はこちらのブログで確認できますよ。

○『shiroaのヴィバラ・ムー・ヴィー』（書庫「英語」を参照下さい）

<http://blogs.yahoo.co.jp/shiroapiano/>

# 1、ネイティブじゃない人たちの英語力は？

---

Is anybody here a native English Speaker?

誰かがここ native 英語のスピーカーですか？

翻訳: Bing

しろあです。

FaceBook は面白いツールで、どんどん外国の方と友達になれます。

英語圏に住む方はもちろん、英語が上手なわけですが、他の地域のバイリンガルの方たちはどうでしょうか？

アジア諸国を見渡すと、割合みなさん英語をしゃべれる印象ですよ。

フィリピン、タイ、マレーシア、台湾、中国、韓国.....とんでハワイ。

逆にいえば英語が喋れればどこの国でも通用するくらい、英語が通じる地域が多いです。.....日本以外は。

そんな諸外国の方たち、英語がこんなに喋れて凄いなあと思ってましたが、FaceBookで交流することで、その英語力の実際が見えてきました。

これは私の実施の経験による感覚で、正しい統計的な見地からの研究結果と勘違いしないよう、ご注意ください。

あらためて冒頭の英語をご覧ください。

## Is anybody here a native English Speaker?

どうでしょう？ なんかおかしくないですか？  
いたいことは分かります。

「ここには英語をネイティブで話せる人はいるんですか？」

つまり、このグループに英語圏に住む人がいるかどうかを尋ねてるんです。

私はこの英文を見た時、何やら違和感を覚えました。  
英語力がまだまだないので、雰囲気だけですけども、  
そこで英語翻訳機を使って翻訳してみたところ、  
こう訳されたわけです。

## 誰かがここ native 英語のスピーカーですか？

翻訳: Bing

わけわかんないですよ。  
よくみると、"ネイティブ" の綴りも違う。

これはひとつの例ですが、他の方の英語も似たり寄ったり。  
言いたい事は分かる、伝わるんだけど。

ネイティブな英語のグラマーな文章に慣れてると、  
「？」と思う語順、言葉使いが多々あります。

こと多いのはスペルの間違い。文章の頭を小文字ではじめるとか。  
そんな初歩的な文法のミスも散見されます。

なんだ、あんなに英語ぺらぺらなように感じてたけど、  
実はこんなに間違いだらけなんだ！

なんだ、へたっぴやん！

そう思うと随分気持ちが楽になりました。

ただだからといってバカにできるものではなく、  
それでも自分の気持ちを、やりたいことを伝えられるだけの語彙はもっている。  
ボキャブラリーがある、というのは凄いです。

だって、日本人はそれすらないですからね。

とにかく前向きに、間違ってもいいから、  
どんどんコミュニケーションをとって、実地で英語力を磨いていければいいと思いました。

FaceBookの活用、これも英語修行に役立ててみてはいかがでしょう？

## 2、英語力はこうしてついていく。『雪だるま式成長法』とは？ vol.1

---

数学の問題。

雪だるまをつくろうと思って、小さな玉を作りました。  
5 m 転がすと、雪がつきました。この時、はじめの球は3倍の体積になりました。  
さらに5 m 転がすと、球の体積はどれくらい大きくなっているのでしょうか？

しろあです。

私は残念ながら計算が苦手なん答えを出す気はありません。  
ですからこういうのが好きな方が勝手に答えを導きだせばよいと考えています。

ここで大切なのは、イメージです。  
数学は好きで、ほとんどイメージと発想でといていたといっても過言ではありません。  
つまり、勉強というより、パズルゲーム、遊びだったんですね。

だから中学の頃、英語は30点くらいですが、数学は80点以上だいたいとってました。

もちろん、勉強は一切してません。（いや、えばるなよそんなこと）

さて。数学の問題はおいといて。英語の話です。

英語を毎日勉強しているけど、ぜんぜん身についていく気がしない。  
そんな人は多いのではないのでしょうか。

毎日1単語ずつ覚えていこうと頑張るひともいます。

.....私にいわせれば、そんな学習方法はかなり無駄なので、さっさと別の方法をすすめますけど。

それでも何もやってないよりは、1年後の単語力はちがうでしょうね。

されど、1日1単語です。一カ月勉強すれば、恐らく7割くらい忘れるでしょう。  
あなたは100%憶えています？ 私は8割は**忘れる自信があります！**

単語の話はおいといて。  
時間で見てみましょうか。

毎日10分間英語を勉強したとします。  
テレビ番組をみるのもいいでしょう。テキストをすすめるのもいいでしょう。  
ESLを1本やるのもいいでしょう。メルマガを1本読むのもいいでしょう。

やり方はそれぞれ。

果たしてその効果は？

もちろん、やらないよりはやった方がいいですよ。

でも、根本的に疑問が起こる。

果たしてこんなこと続けて、本当に英語ができるようになるのか？  
たしかに少しずつ英語力は身についていく、けれども膨大な量の英語をまだまだ覚えなないといけない。

このペースでは一生かかっても足りないんじゃないか？

Right!

その感覚、間違ってます。  
このペースで勉強して安心している人は、残念ながら英語をしゃべれるようにならないと思います。

**でも大丈夫。**（ごぞんじの方は “青影” を思い出して下さい。それ以外の方は無視して下さい）

英語力がグングン上がるプロセスをこれから説明していきたいと思います。  
名付けて「雪だるま式成長法」。……勘のいい方は、もはや気付いていますね。

お楽しみに！

### 3、英語力はこうしてついていく。『雪だるま式成長法』とは？ vol.2

---

毎日ちょっとずつ勉強しても、英語はできるようにならないの？

しろあです。

Season 1（※1）でお話した内容と矛盾しますが、決してそうではなありません。しかし頭を使わずに、ただ漫然と勉強しているだけでは、やはりダメなんですよ。

そこんところが大事なので、そのメカニズムも含め、解説していこうと思います。

題して「雪だるま式成長法」。

これは英語のみならず、だいたいの勉強は当てはまります。人間の自然な成長のメカニズムでもあるのですなあ。だから別に Season1 の中では割愛してたのですけれど。普通の人は、普通に学習していると、普通にこの方法で成長します。

.....なんか、この話を書く意味がなくなってきた気がする。

ま、いっか。

話を戻しましょう。  
前回の冒頭の問題です。

雪だるまを作ろうとして小さな雪の球を転がしました。  
5 m 転がした時の体積を "A" としますか。  
そのあとさらに 5 m 転がした時の体積を "B" としましょう。

さあ、どんな風に増えていってるでしょうか？

答えは簡単。  
大きな球ほど、一周転がせば、体積がぐんと大きくなります。  
表面積が広いから、たくさん雪がくっつくという理屈です。

数学的に表現すると、等差ではなく等比で数字が増えていくということです。

まずはこの感覚をよくイメージしていただきたいと思います。

数学の話は、ここで終了。

実は人間の成長というのは、こういう雪だるまを転がすようなイメージでアップしていきます。だから「雪だるま式成長法」。

具体的にお話しましょう。

英語の学習で例をあげます。ちょー初歩的なところからの方がわかりやすいかな。

アルファベットが分からない人がいたとします。  
その方が「Read」という単語を学習する時、  
まず一文字ずつ、アルファベットから認識していくことになります。

「R」、「e」、「a」、「d」。

もし小文字が苦手なら、ここで「e」は「E」に変換して認識するかも知れませんね。

「READ」

そこまで脳に入ったら、今度は読み方を覚えようと思います。

「リード」

そして、意味。

「読む」

……いやあ、疲れますな。  
しかもかなり時間をかかって、知恵熱が出そうなほど脳を疲労して。  
そしてようやく

「Read」 = 「読む」

に辿りつくわけです。子供が英語を一生懸命学ぼうとしているのを見て、  
自分が瞬間的にそれができるからってバカにしちゃいけませんね。

ネイティブな方からすれば

I read a book everyday that want to knowledge.

を一瞬で理解するけれど、英語が苦手な私たちは、「うん？」ってちょっと時間をかけて理解します。  
時間をかけ、知恵熱が出そうなほど脳を疲労して、ようやく、

「ナレッジは知識か。毎日、本を読むのは、知識を得たいから、ってことかな」

となるわけ。

さきの「Read」を理解するのも、  
つぎの「I read a book everyday that want to knowledge.」も。

英語のレベルの違いがあるだけで、

**同じ時間、同じ脳の疲労、同じ努力をもって理解しているんです！**

ここ、重要。  
だから、英語が苦手な方が学習してて、自分が楽勝でも、

「へえ、こんなんで苦労してるんだ」ってバカにしちゃいけません。  
むしろ頑張れって応援してやりたくなる、それくらいの心をもって欲しいものです。

……。  
話はいいところだけど、長くなったので続く！

=====

※1 Season 1を読んでない方は、こちらで総復習できますよ。  
<http://p.booklog.jp/book/94652>

## 4、英語で「遊ぶ」ってどういうの？

---

— What do you do today?

仕事が終わって家に帰り、息子にこう聞いてみた。  
息子はこう答えた。

— To ASONDA!

しろあです。

まあ、つまり。  
今日は「遊んだよ！」ってことなんです。  
「ASONDA」って、日本語やん！

って思いながら「英語で遊ぶはね……」と考えて、  
一瞬「pl…」と出てきたんですが分からなくなりました。

さて、あなたならどう教えますか？

もしも「Play」が出てきたのなら、あなたの英語力はちょっとやばいかも知れません。

学校で確か習った気がするんですが。  
「play」の単語の意味をテストで書く時は「遊ぶ」だった気がするんですが。  
この英単語の本質からずれた意味合いで固定して暗記しているのは非常に危険な気がします。

プレイ、という言葉は楽器を「演奏をする」時に使います。  
スポーツを「する」時に使います。

それらは日本語的にいうところの「遊んで」ますかね？

けっこう一生懸命、「Hard」、「Serious」な感覚で「Do」してると思うんですけど。

ちょっと調べてみたら子供が遊ぶ時に「play」という言葉を使うのは特に間違っていないようです。

例えばですな。  
Kenji played with Mika. : ケンジ君はミカちゃんとあそんだよ。

無邪気な感じがしていいですな。共に楽しく時を過ごしたのかな？ そういう雰囲気が伝わります。  
微笑ましいものです。

↓↓↓

ここでケンジ君とミカちゃんが大人になったとしましょうね。

Kenji played with Mika. : ケンジはミカとやったぜ。

とまあ、なんかやらしい意味合いに変わります。  
ですから、大人になっても「遊ぶ」という意味合いで「play」を使うと、

**あなたの人格が疑われる恐れがあるので、気を付けて下さい！**

そんなことを考えさせられる。息子との会話でした。  
勉強になったなあ。

○ おまけ

じゃ、英語でどんな表現を使えばいいの？  
いくつか出しておきましょう。

Hang out  
Spend it  
enjoy oneself  
relax

.....etc.

友達と一緒に何かするとか。  
時間についてであるとか。  
一人でとか。  
感情的にとか。

まあ、いろいろ表現はありますね。

こう考えると。日本語の「遊ぶ」という言葉は、すごく広い意味合いだったことに気がきます。

## 5、英語力はこうしてついていく。『雪だるま式成長法』とは？ vol.3

---

英語を勉強する時、  
できる人も、できない人も、  
自分のレベルに合った問題を解いている時は、  
同じエネルギーを消費して理解しようとしています。

しろあです。

これが前回のポイントです。  
そしてこれこそが雪だるま式の真骨頂ともいえるものです。

”英語レベル 1” の人と ”英語レベル10” の人がいたとします。

同じ問題が出題されたとしたら、どうでしょう？

レベル1 : 難しい！ めっちゃ疲れる！

レベル10 : 超簡単！ 楽勝だね！

とまあ、差が出るわけですね。  
この時、間違いなく レベル1 の人はすごいエネルギーを使って問題を解こうと頑張ります。  
本当に分からない、太刀打ちできないと思ったら、

頭の回路をシャットダウンして、考えなくなりますけど。

これを専門用語で 「あきらめる」 と言います。  
常にあきらめてばかりの学習は、本当にストレスですしなかなか効果が得られにくいから、  
やはり自分にあったレベルの教材で学習するというのが大切ですネ。  
.....勉強の場合の話ですヨ。

レベル10 の方は楽勝なので、もしも同レベルの問題がたくさん出題されていれば、  
どんどん解けてしまうでしょう。

それでも消費するエネルギーは レベル1 の方よりも少ないかも知れません。

つまり。  
自分のレベルが上がれば上がるほど、  
より高度な勉強が楽にできるようになっていくんです！

これって、なんかに似てませんか？

...  
...  
...

そう！ ロールプレイングゲームと同じです。

ただ、ロールプレイ（なりきり）では無く、実際に自分がやってるわけなんですけどね。  
自分が成長するわけなんですけどね。

ゲームはクリアすると熱が冷めちゃってつまんなくなりますけど。  
そこでゲームをやめたりするんですけど。  
なんとなく、リセットされるような感じなんですけど。

リアルに自分なわけだったら、レベルが上がったらレベルが上がった状態で、

**今後一生、生活することになるんですヨ！**

ここ、重要です。

ゲームやってる場合じゃありませんね。ゲームやってる時間があれば、

自分のレベルアップの為にいろいろ鍛えることに時間を費やした方が有意義です。

ええ！ その努力が “つまらない” ということなら意味がありません！

ゲームよりも面白く、努力が続くのがベスト。

自己啓発が得意な方は、みんなその努力の仕方を身に付けてるんですよね。

このブログの読者は基本、勉強嫌いで成績が悪かった人を対象にしていますので、

そんなのウソやん！ って思う方が、多いかも知れません。

私の友人はヤンキーばかりでした。

そんな彼らもやはり、楽しく努力をして、自分自身のレベルアップを頑張っていましたヨ！

今回はそんな話をしたいと思います。

続く！

(.....完全に話が逸れたなあ。でもまあ、大事な話だからいっか)

## 6、英語力はこうしてついていく。『雪だるま式成長法』とは？ vol.4

---

いわゆる不良と呼ばれる人って、  
純粋で素直な人が多いんですよ。

しろあです。

私はヤンキーではありませんでしたが、ヤンキー高校出身です。

**偏差値38** ぐらいだったかなあ。  
たぶん、ピリギャルどころの話じゃありませんよ。

そんな生徒が集まる学校での生活は、

**チヨ一面白かった！**

なにせ勉強しなくってもある程度点数がとれる。

.....ということは、試験勉強ナッシング！

工業高校だったので、週に1度は実験デー。

一日遊んでるようなもんでしょ？！

しかも！ 就職率 98%くらいで、  
就職したくない人だけ就職しない学校でしたから、  
望めばほぼ100%働ける。

つまり、就職活動への努力不要！

さらに普通科出るより技術があるということで、初任給も高いんです。

ね、工業高校って魅力的でしょ？  
楽しそうでしょ？

自分の自由な時間がすごい作れて、好きなこと出来ちゃうんですよ。

まわりのヤンキー友達も、別に頭が悪いわけではありませんでした。  
ただ、勉強が嫌いなだけだったんです。

「なんで勉強せなあかんの？」

それが理解できなかったから、しかも勉強がつまらなかったから、  
勉強しなかっただけ。

つまり、**素直**なんです。

で、自分が興味持って「かっこええ！」って思ったことは思いっきりのめり込みます。

時にバイク、時に音楽、時に女の子.....？  
とにかく一生懸命、その道に関してはすごい自分で情報集めて勉強して、  
ものすごく詳しくなります。

つまり、**自主勉するんです！** しかもちゃんと技能を身に付ける、**頭いいんです！**

そんなことを知っている私は、ピリギャルが大学受かったからって

特に不思議ではありません！ ただポテンシャルを持ってただけ。  
で、素直に勉強がつまらない、意味がないと思っていただけ。

だから、勉強する理由が明確になればそのポテンシャルは爆発し、大学なんて簡単に合格できるんですよ。

.....実はそんな思いが根底にあって、この『Poor Head English』を書いています。  
特に勉強コンプレックスのヤンキーに読んでもらって、  
英語がペラペラしゃべれるように、英文がスラスラ読めるようになって欲しい。

そしたら、**超**楽しいと勝手に思ってます。

横道終了。  
本筋に戻ります。

次回はきちんと英語力がついていく話をします。  
「雪だるま式成長法」による面白い効果、特徴をご紹介します。

お楽しみに！

## 7、先輩にはなかなかおいつけないのだ。「雪だるま式成長法」とは？ vol.5

---

さて、何の歌の英訳でしょう？

I am obscenity in the room.

しろあです。

これでわかったら凄いです。名曲ですけど、ちょっと頓知がきかないとわからないはず。今日は「雪だるま式成長法」の続きをお話します。

ちょっとおさらいすると、「雪だるま式成長法」にはこんな特徴があります。

- ・勉強するほどに、同じ時間勉強しても疲れなくなる。
- ・勉強するほどに、同じ時間勉強しても成長率が高まる。

こんな感じ。

これが本当だったら、一生懸命何か技術や知識を学んできて、途中でほっぽり出したらもったいないって話になります。だって、成長する、できるようになるのはこれからだから。

どんどんできるようになれば、どんどん面白くなっていくでしょ？

話を戻します。

はじめは単語1コ覚えるのに1時間かかったかも知れません。けれども勉強していくことで、1時間で単語15コ楽に身に着くようになっていきます。

私が提唱する英語の学習法ならば、それどころか、表面的な一時的な“暗記”ではなく、意味を深く理解した、文字通り“身に付く”ことになります。

だから忘れたくても忘れられなくなっちゃうんですヨ。……あの日にふられた、あの子みたいに。

そしてだ。

これも面白い効果と言えるでしょう。先に同じジャンルを勉強している先輩がいたとすると、同じ量の勉強をしている限り、絶対に先輩に追いつけず、むしろどんどん距離を引き離されてしまうのだ！

雪だるまの一周の外周の長さが1cmでも長ければ、どんどん等比数列的に差が開いていく！

この差を埋めるためにも、先輩に勝とうと思えば、1日でも早い段階で、先輩以上の学習や訓練を行っていく必要があります！

**結局努力型の人間が勝つ**、というのはそういうことです。

いや～、今回は英語のみならず、学習や技能習熟に関するとってもいい話をしてしまいました。新人教育や、生徒さんをお持ちの方も、是非この「雪だるま式成長法」の話を教えてあげて下さい。

……えっと。そういえば。土屋ホームの3KMですでおなじようなこと言ってたな。

ま、いっか！

○ 冒頭の翻訳 ○

” 私は部屋でわいせつです ”

⇒ ” 部屋でわいせつな私 ”

ということで、答えは！ ⇒ ” 部屋とワイシャツと私”

いや～、わかるか～！！ って話ですね。  
みなさんも是非まわりの人に言ってみましょう。

「『部屋とワイシャツと私』を英語で言ったら、 ” I am obscenity in the room. ” なんだけ」

英語ができる人がいたら、”変態” って呼んでもらえるヨ。

## 8、ちょっと、英語できすぎじゃないですか？『おとなの基礎英語』

---

今シーズンもNHKは英語番組が充実しております。

しろあです。

ということで、今テレビで楽しめるNHKの英語番組を紹介します。  
今年は全般的に ” 発音 ” にこだわっていますね。  
確かに座学ではなかなか発音を学ぶことが出来ず、  
せっかく正しいフレーズが出てきても相手に伝えることが出来なければ  
悲しい……。

しかしテレビでいかに ” 発音 ” を教えるか？！  
すごく難しいと思うんですね。  
でも、NHKは頑張ってますよ。お陰で私も少しずつネイティブな発音に近づいています。

今日紹介するのはそんな「発音」にはあまり関係のない（なんだそれ?!）番組。

『おとなの基礎英語』です。

ついこの間まで、坂下知里ちゃんがメインの同タイトル番組が放送されていましたが、  
こちらはシーズン3で完結。  
今は装いを新たに、新番組としてスタートしております。

メインで英語を学ぶ生徒として高橋真麻さん。  
人間として非常に魅力的で能力がある方です。恋人が……といつも話されますが、  
もてないはずは無いと思うのですけれど。  
ネイティブな発音、英語のアシスタントとして太田エイミーさんが続行。  
（エイミー、ちょっと老けた？）  
ドラえもんみたいな（？）先生は、引き続き先生として登場します。

ドラマ部分も新しくなりました。  
野村佑香さんがトラベルカメラマンとして取材旅。  
舞台はサイパン。

サイパン系の人たちの英語ってすごく聞き取りにくくて、  
英文字幕が出てやっと何いってるのか理解できた！ ということが多くなりました。  
世界を相手にヒアリング能力を高めようと思うと、これは避けては通れない道なのかも知れませんがね。

ちなみに。先日サンフランシスコ在住のネイティブな方とお話する機会がありましたが、  
こちらの英語レベルに合わせて簡単な単語、聞き取りやすい発音でお話しいただいたので  
凄く分かりやすかった。

ネイティブの方の英語が聞きとれるから大丈夫！ そう思っていると痛い目に合うな。  
そんなことをこの番組を通して考えさせられています。  
はい。

全体的に作りはよく、英語力が着実に高められる番組で私は気に入ってるのですが、  
ひとつ問題があります。

それは、生徒役の高橋真麻さんが、 ” 英語ができること！ ” です。  
先日の会でもあんまり正解するので先生も困ってました。  
ようやく間違っただけに「たまには間違ってもらわないとね」とこぼすほど。

一応は英語ができない振りにはしてるんですが、英語が得意なことはありありと伝わってきます。

そんな高橋真麻さんが知らない単語が出てきたり、出てこないフレーズが出てきたりした時、  
「よし！ 勝った！ どうだまいったか！」と一人で盛り上がってるのですが。  
全体的には負けの数の方が多いので、やっぱり私は高橋真麻さんにはまだまだ敵いません。

ていうより、そもそも勝ち負けの問題じゃないしね。

さて、次回も新番組「エイエイGO!」をご紹介します。  
お楽しみに！

## 9、初心者も中級者も嬉しい充実の内容です。『エイエイGO!』

---

「宇宙船エイエイGO」が舞台です。

しろあです。

昨シーズンは「基礎英語」としてお笑い芸人の小藪やモデルのくみっきーを起用した、小学生向けの英語番組がありました。

その番組が終了し、新しく始まったのが「エイエイGO!」です。

宇宙船の中を舞台に、正しい英語しか理解しないアンドロイドとの日常を描いた語学番組。基礎をしっかりと分かりやすく解説、なおかつ発音に関してもかなりこだわった作りになっています。

なにせ英語が得意！ という方でも、発音がかなり下手っぴな方が多いですからね。日本人は。

ネイティブな方との会話量が少ないことと、シャドーイングをしてもそれが本当に正しいか分からない、自分ではできたつもりになって発音している、というのが原因かもしれませんね。

ちなみにシャドーイングとは、ネイティブな方が英語を発音したものを真似して喋る、発声の練習方法です。どんなに英語を勉強しても、しっかり口を動かして喋ってないと、

” 舌が回らない！ ” ということがおこるので、英語を覚えるための必須の練習項目ですね。

「r」と「l」の発音の違いとか。「t」「p」「k」の発音の仕方など。具体的な例をもって解説してくれるので、とてもありがたいです。

また基礎英語の内容として、「ありがちミスタイク」というコーナーがあり、一般的なよくある英語表現の間違いと、正しい文法での表現を比較してみることができるので、とても理解しやすいですよ。

見るからに頭の良さそうな先生が教えてくれますが、本当にスマートな内容になっています。

キャストもなかなか充実。

お笑い芸人の陣内智則がリーダー。  
ばんばん間違えながらも、英語に果敢に挑んでいく姿に好感が持てます。  
一般的な英語レベルじゃないですか。……つまり、あまり得意ではない。

イケメンメンバーとして志尊淳君。  
もともと「トッキュウジャー」といういわゆる戦隊物出身の俳優だそうです。  
みてる結構英語は得意な優等生。顔もいいし、頭もいい。

できない子担当で小林きなこさん。  
ぼっちゃりキャラでお笑い芸人かと思いきや、どうも女優さんらしいですね。  
タニタの映画なんかに出ていたようです。  
英語はダメダメ。英語が苦手な方もシンパシーを感じながら見れるでしょう。

アンドロイドにアナング・ジェイコブズさん。  
とても綺麗な方なのですが、はっちゃけた動きを恥ずかしげもなくしてくれます。  
かなり動きが面白いのと、ちょこちょこ話す英語のコメントも面白い。  
徹底して英語しか喋らないので、彼女の言葉はすべて聞きとるつもりで臨んでおりますよ。

先生は高山芳樹さん。  
……誰？

ということで、英語力の底上げ、復習、学生さんのテスト対策に。  
いろいろ活用できるとても優れた内容の番組です。

Check it up!

今回は『ニュースで英会話+』 をご紹介します。



# 10、英語の発声にこだわった、プラスアルファの番組です『E-NEWS+』

---

I book a restaurant's book for party tomorrow.

しろあです。

この英文の意味はわかりますでしょうか？

実は "Book" について分かりやすいように作った文章ですが、自分でもかなり違和感があります。ようするに、間違った英文です。

でも、"Book" という単語を理解してくると、この文章で何が言いたいのかは分かってくるはず。"Book" をただの「本」だという認識であれば、意味のわからない文章になるでしょう。

この答えは後ほど。

最近ライティングの仕事も忙しくなってきたので、Season 3 としては、今回が最終回。今までは英語の勉強の仕方などを中心にお話してきましたけど、Season 4 からは実際に読むことで英語力がアップしていく、実践的な英語のお話ができると思います。.....勉強すればするほど、まだまだゴールは遠いなあと思うんですけどネ。

本日は英語番組を紹介。以前NHKの『E-NEWS』を紹介しましたが、この4月からこの『E-NEWS』の後に、新番組がはじまりました。

その名も『E-NEWS+』。「プラス」がついたのです。

5分番組。この番組の一番のポイントは、英語の発声にこだわった番組になっていることです。日本人には難しい発声について、その道の専門の先生が、パネルを使って分かりやすく解説してくれます。

生徒役は『E-NEWS』に続いて吉竹さん。吉竹さんはかなり英語ができる方だと思いますが、それでも発音は「カタカナ」英語。それじゃ残念ながら誤解を招いたり、理解してもらえなかったりと損してしまいますね。

その発音の練習に、先の番組で取り上げたニュースを題材にして、例文を発声いたします。

そこで登場するのが「ききわけ君」というロボット。「ききわけ君」はソフトバンクのCMや、BOSS缶コーヒーのCMでも登場した、あの白い、喋るロボットです。

それをどぎつい、趣味の悪いカラーリングに塗装して使ってます！これだけでも一見の価値ありますヨ。ダサすぎです。

例文のポイント解説を受け、吉竹さんが発声にチャレンジ。その発音を星の数で判定、評価します。評価は☆1つから☆3つまで。

そしてこれがかなりの辛口。ほとんどが☆2つ。

はじめ☆2つで不満をもらっていた吉竹さんも、途中から☆2つで「やったー！」と喜ぶようになるくらい。

.....やったーじゃねーよ。いつになったら☆3つが出るんだよ。

そんな感じて見てましたら、丁度前回の放送ではじめて☆3つが出ました。

いろんな意味で面白さのある番組。

特に発音に関してレベルアップしたい方にはおすすめの番組です。

1週間で、たった5分ですからね。

#### ○冒頭の翻訳

明日のパーティにレストランの本で予約します。

ということです。

「え?! なんで?? Book は 本 じゃないの?!」

と思っている人にはあまりにも意外な事実ではないでしょうか。

ポイントは動詞に “Book” が入っているということで、

動詞になると違う意味になる好例ではないかと思うのですな。

Book : 予約する

ではまた。

See you later!